

かんしゃく
～コミュニケーションの発
達の観点から～

第4回 発達を見守る会

2015年11月19日

沖縄中部療育医療センター 医師 遠藤尚宏

本日の話の内容

- コミュニケーションの発達
- かんしゃくとその対応法
- 自傷・攻撃性
- ケース
- まとめ

今日のポイント

- かんしゃくはメッセージ
- かんしゃくの最大の対応法は予防
- かんしゃくをかんしゃくで返さない
- かんしゃく以外のことも見てあげよう
(長所を伸ばそう、個性を磨こう)

コミュニケーションの発達

～言語能力と社会性～

0～2歳の発達

- 愛着形成が最も大切
- 言語発達は言語理解で評価
- 「そこにあるから」が重要な行動の理由

- ～1歳 指さしをする
呼名に振り向く
人見知り
- ～1歳半 明らかな単語
- 2歳代 他の子と一緒にいられる

3～5歳の発達

- 自己実現の達成
 - 自己制御の発達
 - 「楽しい」が行動規範
- かんしゃくを起こすきっかけ

3歳～ その場で話し合っ
てルールを決める。ままごと、ヒーローごっこなど。

～4歳 何・どこ・誰の理解

他の子と一緒に遊べる
5歳になっても、他の子の視点でものを考えることは多くない。

気になるサイン

指さししない/指さしに反応しない
言葉の遅れ/オウム返し/抑揚のなさ
極端な人見知り / 人見知りがない
視線が合いづらい
呼び名に返事しない

2歳～2歳半になってもあるなら要受診

見落とされやすいサイン

一方的な言動（話がかみあわない）

大きい音・特定の音への過敏さ

極端な偏食

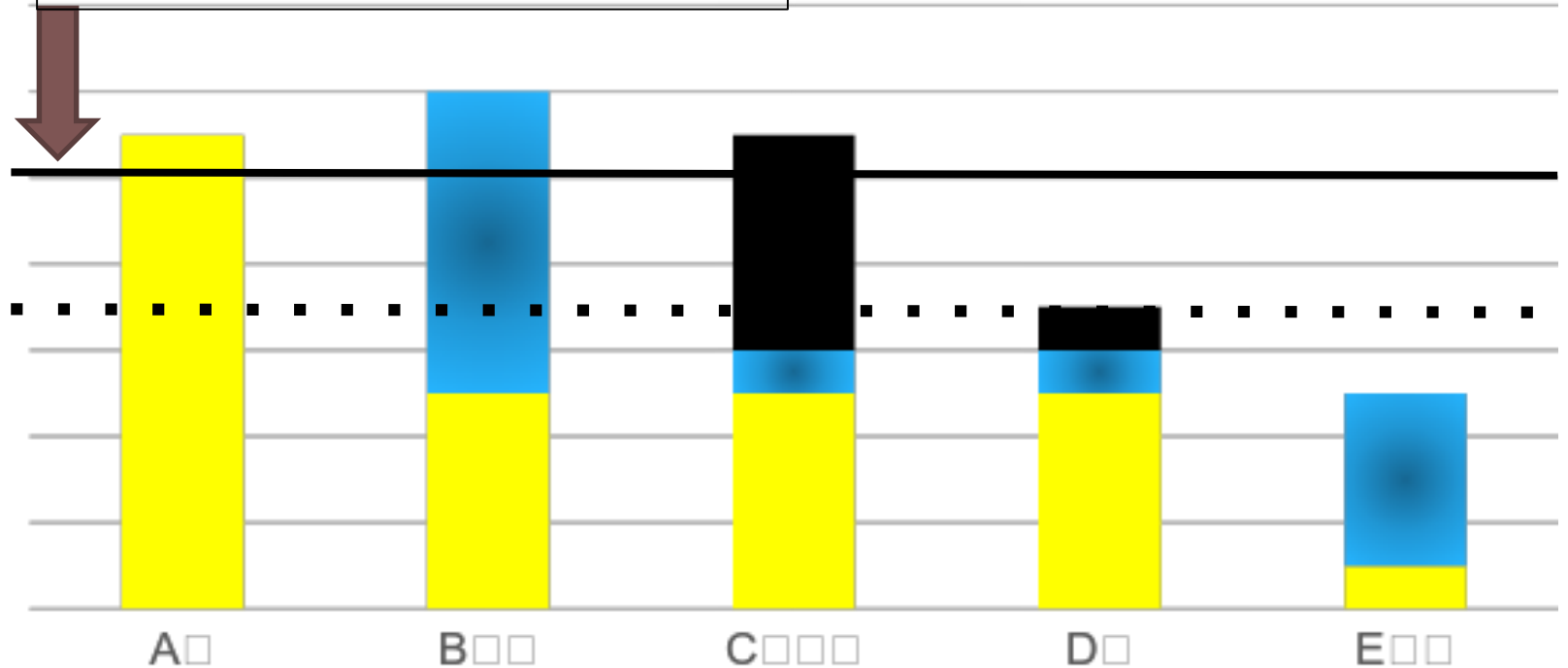
基本的な生活習慣（更衣・排泄など）獲得の遅れ

極端な不器用さ

運動の苦手さ

「発達障害」のように見える理由は一つではないかもしれない

発達障害と診断されるライン



コミュニケーション能力の伸ばし方

- ・ (2～6か月の間に)手遊び、歌、顔真似などの遊びスタート
- ・ 子どもがそのとき注目している対象に関して親や保育者が言語を用いて、子どもに働きかける
- ・ 子どもが他者の動きに全く関心を示さない時期は、感覚や認知促通の活動を優先したほうがよい。
- ・ 他者の動きに関心を持っている様子が見えてきたら、言語による働きかけを強化しても遅くない。
- ・ **本人の個性理解が重要**

子どもによって得意なコミュニケーションの取り方は違って当然（多様性支援・才能支援）

・パターン思考（音楽・算数が得意、読字難）、

視覚思考（算数が苦手）、言語思考（絵や図形が苦手）

6.17 ON AIR Temple Grandin テンプル・グランディン

「世の中にはいろいろなタイプの脳が必要だ」NHKスーパープレゼンテーションより

<http://www.nhk.or.jp/superpresentation/backnumber/150617.html>

・ Multiple Intelligence：言葉、数、絵、音楽、身体、対人、自己、自然

・ 2e (twice exceptional)：知的に恵まれた才能を持つが、同時に障害と呼ばれてしまうレベルの困難さも持つ子ども（人）

かんしゃく

(泣きわめく、当たり散らす、パニック)

かんしゃく

自己実現とスキル習得がうまくいかないことから起こる。

- 自分の欲求が満たせる機会を先延ばしできない
- 怒りを鎮めたり置き換えたりすることができない
- 言葉で感情を表現することができない

かんしゃくはメッセージ:

不満、悔しさ、葛藤、痛み→不快感→怒り→かんしゃく

最大の対応法は予防： 行動修正、環境調整

- より本人にあったレベルの課題を与える
- 先の見通しをたててあげる
- イメージを持ちやすくする、選択肢を与える
- かんしゃくを起こす一歩前のサインをみつける。そこで、クールダウンの時間を設ける
- 長所に着目する（苦手に注目しすぎない）

かんしゃくがおきたら： 行動修正、環境調整

- そっと見守る、短時間注意をはずす
- 少し大きな子は（場所を変えて）、しばらく落ち着くまで放っておいてあげる
- （落ち着いたら）穏やかに簡単な選択肢を与える
- 感情や出来事を言語化してあげる
- 子ども自身を責める形ではなく、出来事（事実）を回想するようにして、行動修正をはかる。

自傷

かんしゃくの最中に起こるもの
反復的行動の最も深刻な形

対応：深刻なけがを防ぐ
メッセージの内容を考える（悔しさ？不満？葛藤？）
自傷行為が周囲・本人にもたらした影響を分析する

攻撃性

- 攻撃性の高さは生まれつきの性質、環境要因の二つが大きく影響する。
- 環境要因は懲罰的、抑圧的な養育、家庭環境の悪さ、暴力の目撃（虐待・TV）等があげられる。
- 混乱、怒り、肉体的痛み、抑うつも原因となる。
- まずは信頼関係を作る。家族全体に対する治療的介入、補助として投薬。

振り返りチャート

Nくん

相手

無視した

外見をからかってきた

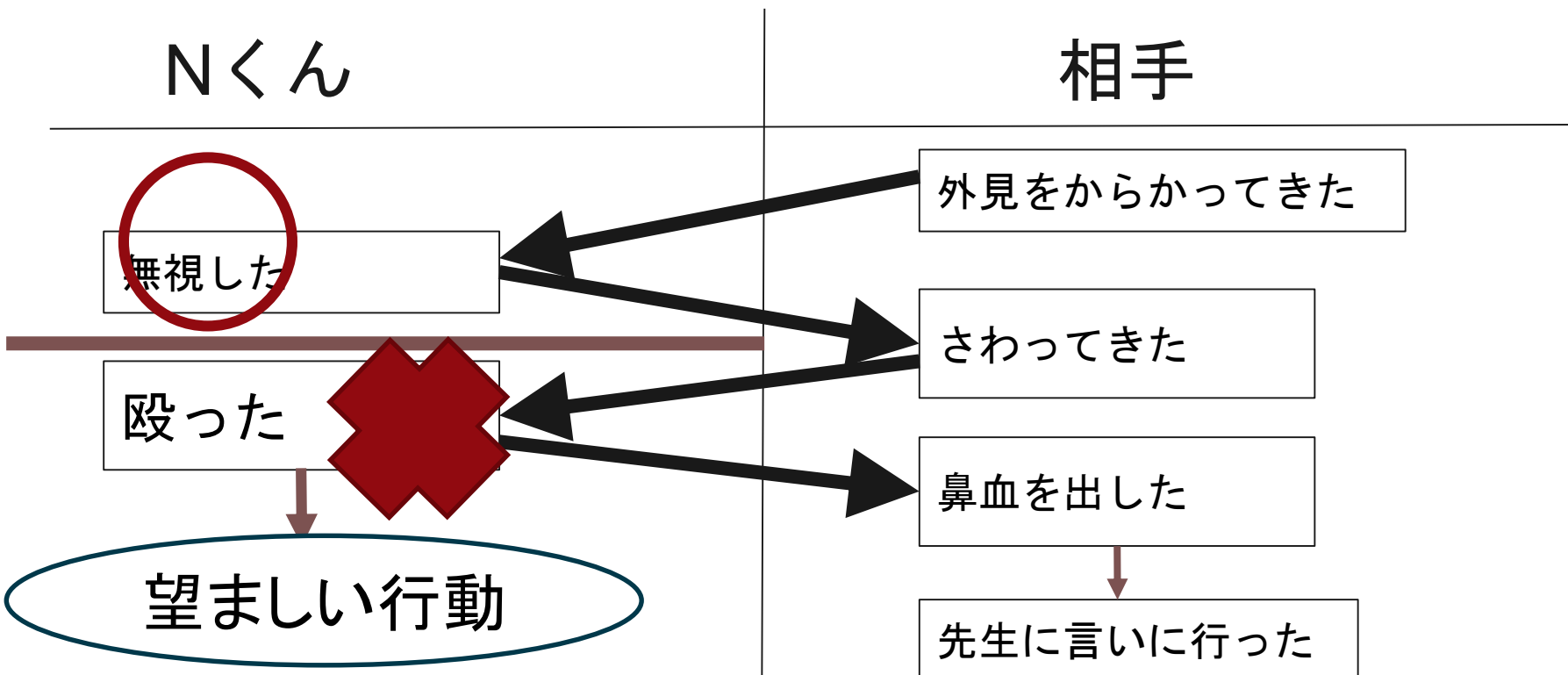
殴った

さわってきた

鼻血を出した

望ましい行動

先生に言いに行った



今日のまとめ

- かんしゃくはメッセージ
- かんしゃくの最大の対応法は予防
- かんしゃくをかんしゃくで返さない
- かんしゃく以外のことも見てあげよう
(長所を伸ばそう、個性を磨こう)

参考文献

2015. 発達を見守る会・対照群のアンケートより

Kliegman, R. M. et al. 2007. Nelson Textbook of Pediatrics. 18th edition. Saunders.

前田和子 2010. 保育士による発達障害児の早期発見と早期支援の課題 沖縄県南部3市における質問紙調査. 沖縄県立看護大学紀要 11, 31-38, 2010-03

篠田達明. 2005. 自閉症スペクトラムの医療・療育・教育. 金芳堂.

中井昭夫. 発達障害の診察室で考えていること. Retrieved from :

http://www.blog.crn.or.jp/kodomogaku/m/pdf/vol_10_nakai.pdf

William, B.C. et al. 2009. Developmental-Behavioral Pediatrics.

Fourth edition. Saunders.